



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

News Release

〒100-0013

東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番 3 号

全日通霞が関ビル 5 階

TEL: 03-3593-0139

FAX: 03-3593-0138

URL: www.butsuryu.or.jp

令和 6 年 9 月 1 2 日

令和 6 年度 第 1 回経営効率化委員会を開催

～「物流の 2024 年問題の現状と課題」についての講演会を開催、及び委員会にて「障がい者の活躍推進に関する調査検討」を行うことを決定しました～

(一社) 日本物流団体連合会は、9 月 10 日(火)、全日通霞が関ビル(千代田区霞が関)において、令和 6 年度第 1 回経営効率化委員会(委員長: 外山俊明氏 ANA ホールディングス(株) 顧問 兼 (株)ANA Cargo 会長)を開催しました。

この「経営効率化委員会」は、物流業において経営上のリスクとなる問題について調査検討を行っており、労働生産性の向上、ダイバーシティの推進及び危機管理など、テーマごとに適宜小委員会等を設置して調査を行うとともに、国の施策について会員の皆様へ情報提供を行うため設置しているものです。

委員会に先立ち開催された講演会には、会員団体・企業及びそのグループ会社などからオンライン参加の方を含めて約 200 名が参加され、講師の流通経済大学 流通情報学部 大島弘明教授より「物流の 2024 年問題の現状と課題～昨今の行政と物流業界の動向について～」と題した講演が行われました。

講演では、物流の 2024 年問題に関する物流事業者の意識調査の結果やトラック運送事業者数と輸送トン数の推移などについてお話し頂いたのち、改正物流効率化法に基づいて今後段階的に施行されていく各種法律の具体的な内容や基準、またそれに伴って発生する荷主や物流事業者の義務などについて詳しく解説して頂きました。講演の最後に、持続可能な物流が実現できるための将来像について各種の物流改善事例を踏まえながら説明して頂いて、講演会は盛況のうちに終了しました。

引き続き行われた委員会には 27 名が参加し、「令和 6 年度上期活動報告」として

1. 高齢者活躍推進ワーキングチーム(ダイバーシティ推進)
2. 「官民物流標準化懇談会」及び「パレット標準化推進分科会」、「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画

の 2 点の活動状況について事務局より報告しました。

続いて「令和6年度下期活動計画(案)」について

1. 障がい者の活躍推進に関する調査検討（ダイバーシティ推進）
 2. 施設見学会の実施
 3. 「先進技術の活用」、「物流デジタル化」等に関する検討
 4. 「官民物流標準化懇談会」及び「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画
- の4点を実施していく案が事務局より示され、原案通り承認されました。

今後も物流連は、本委員会の活動を通じ、物流業界の労働力不足、生産性向上を目指した取り組みを実施してまいります。

以 上
事務局 中野



流通経済大学 大島弘明教授



外山委員長



経営効率化委員会風景